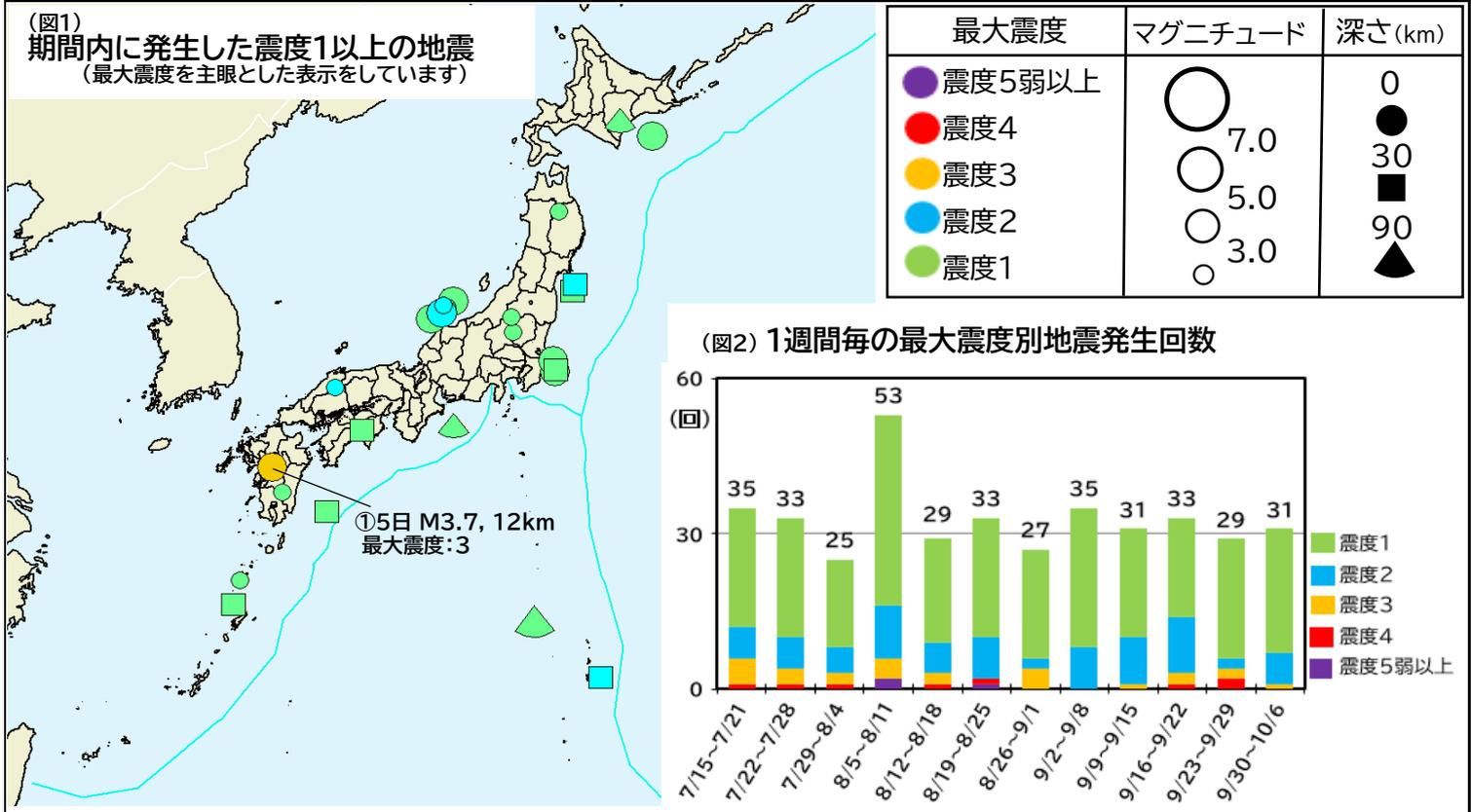


この期間の最大震度は3

本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典: 気象庁震度データベース/地震情報)



主な地震の発生状況 (図1,図2参照)

■ この期間、震度1以上の地震が31回発生。最大震度は3。 ■

①10月5日08時58分に熊本県熊本地方で発生した地震(M3.7、深さ12km)により、熊本県熊本市・宇城市・宇土市で震度3を観測したほか、熊本県、長崎県、宮崎県で震度2~1を観測。

トピックス

■ 日本海側西部の地震活動 ■

・昨日(6日)は、2000(H12)年10月6日に発生した鳥取県西部地震(M7.3)から24年経過した日にあたります。この地震により鳥取県境港市と日野町で震度6強を観測し、182人が負傷、17,000棟以上の家屋が被害を受けました。

・太平洋側では津波や大きな被害を伴う大きな地震が何度も発生しているのに比べて、日本海側は大きな地震は発生していないのではと思う方もいますが、日本海側でも津波や被害を伴う地震がこれまでに何回も発生しています(図3)。

・日本海で発生する地震は南海トラフや日本海溝で津波を引き起こすプレート境界型のタイプではなく、活動間隔が長い活断層タイプの地震です。

・日本海で発生する地震に伴う津波の特徴として、地震の規模のわりに津波が高く、津波到達までの時間が早いことがあります。これらのことは、地震は浅い領域で発生することなどにより海底地形の変位量が大きくなること、断層が沿岸に近いために津波が早く到達するためです。

・日本海側・太平洋側を問わず、海の近くで強い揺れや、弱くても長い時間ゆっくりとした揺れを感じた場合、津波警報等の発表を知った場合は急いで避難することを心がけましょう。

